

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

テーマ展示「砂浜の砂とその自然」を開催します

大阪市立自然史博物館では、令和3年7月24日（土）から9月26日（日）まで、テーマ展示「砂浜の砂とその自然」を開催します。

砂浜は日本に暮らす人々にとって原風景のひとつであり、海水浴をはじめとしたレクリエーションの場としても私たちの生活に親しみのある場所です。砂浜とひとことで言っても、砂浜のできる場所や地形、砂粒の色や大きさ、砂粒の種類などは様々です。また、砂ばかりで生きものが少ない印象がある砂浜ですが、その環境に適応した生きものも数多く暮らしています。

このテーマ展示では、砂浜という自然環境に注目し、博物館で収集した日本全国の砂浜の砂を展示し、地域ごとに異なる砂浜の砂の多様性ととも、砂浜環境に暮らす動物・昆虫・植物について紹介します。また、開発や海岸侵食により危機的な状況にある砂浜の現状についても解説します。

この展示にあたってはJSPS 科研費18K01114の助成を受けています。

■開催概要

1. 名称：テーマ展示「砂浜の砂とその自然」
2. 会期：令和3年7月24日（土）～9月26日（日）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館する可能性があります。
最新情報は、当館ホームページ等でご確認ください。
3. 開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
4. 休館日：月曜日（ただし8月9日・16日、9月20日は開館）、9月21日
5. 場所：大阪市立自然史博物館 本館1階 ナウマンホール
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
TEL:06-6697-6221（代表） FAX:06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1,000m
ホームページ：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
6. 観覧料：常設展入館料（大人300円、高大生200円）
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、
大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。

■ 展示内容・広報用画像

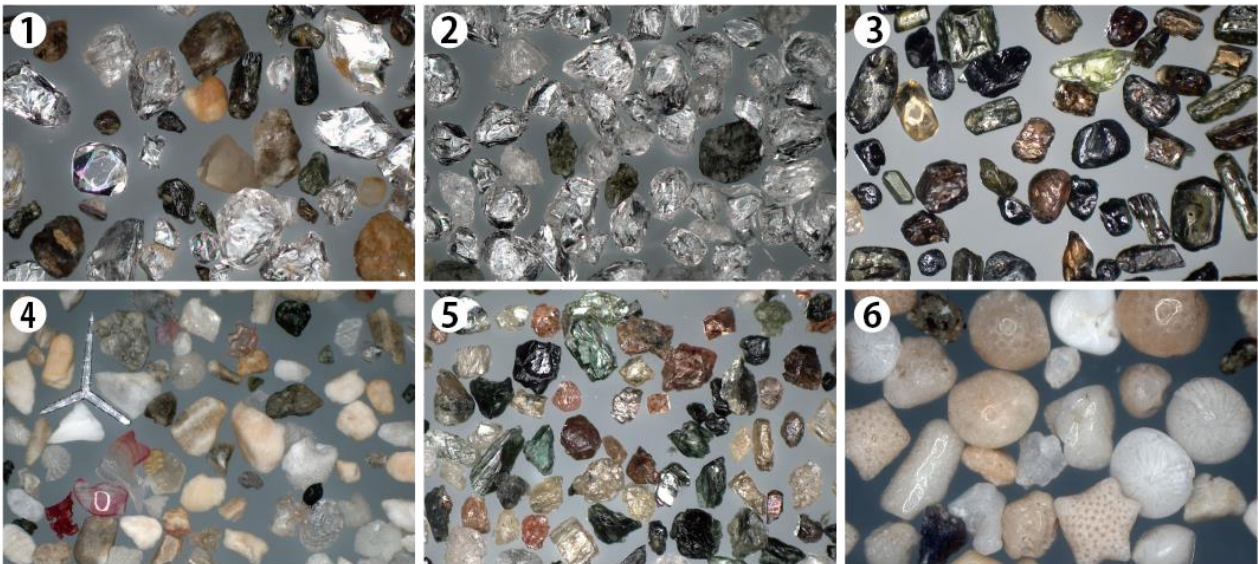
1. 日本の砂浜

砂浜はできる場所や地形、砂浜の砂粒の色や大きさ、種類など多種多様です。日本各地の砂浜と砂浜の砂を紹介します。①波の荒い日本海に面した砂浜（島根県江津市）。②静かな入り江の砂浜（長崎県壱岐市）。③開聞岳を望む黒い砂浜（鹿児島県指宿市）。④砂浜の砂には貝殻を多く含むこともある（長崎県五島市）。



2. 日本各地の砂浜の砂の顕微鏡写真

砂浜では同じように見える砂も、顕微鏡を通してみると場所ごとの砂粒の違いがよくわかります。展示では実際の砂と顕微鏡写真を展示します。①青森県東通村。②東京都新島。③神奈川県鎌倉市。④和歌山県串本町。⑤愛媛県四国中央市。⑥沖縄県与那国島。



3. ハマボウフウ

初夏の砂浜に咲くセリ科の海浜植物です。実物にそっくりの模型を展示します。



4. ハマダンゴムシ

砂浜の潮上帯に生息するダンゴムシの仲間です。東アジアに分布し、日本では北海道から沖縄にかけて見ることができます。砂浜でしか生息できないため、砂浜の縮小はハマダンゴムシの個体群に大きく影響します。大阪府では1970年代に田尻町で採集された標本の記録がありますが、近年は府下での確実な生息の記録はありません。写真は岡山県笠岡市北木島のハマダンゴムシ。



5. オオウスバカゲロウの幼虫（アリジゴク）と成虫

日本最大のウスバカゲロウで、自然度の高い砂浜に生息します。標本を展示予定です。



6. 失われつつある砂浜

海岸侵食によって砂浜を保護する消波ブロックさえも波でさらわれそうになっている砂浜（山形県酒田市）。開発や海岸侵食によって、日本の砂浜は失われつつあります。危機的な状況にある砂浜の現状について、データや写真などから解説します。



■関連行事

【自然史オープンセミナー】「砂浜の砂をのぞいてみたら」

砂浜の砂はどこでも同じに見えるかもしれませんが、じっくり眺めてみると砂浜によって砂粒の色や大きさ、中に含まれる種類などが違います。日本各地の砂浜の砂を見ながら、その違いを考えてみましょう。

日時：8月21日（土） 13時～14時30分頃

行事形式：講演会およびインターネットによる配信行事。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、行事内容を変更する可能性があります。

す。

場所：自然史博物館 講堂（YouTube を使った同時配信も行います）

定員：【講堂での聴講】 100 名（定員を超えた場合は抽選）

【ネット配信】 当日の参加が可能です。定員の制限はございません。

対象：【講堂での聴講】 どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）

【ネット配信】 インターネットに接続することができる方であれば、どなたでも参加できます。

参加費：講堂での聴講無料（博物館での聴講の場合は博物館入館料が必要）

申込締切：8月14日（土）※YouTube を使った配信での聴講をご希望の方は、申込不要です。

配信方法：YouTube を使った配信を予定しています。インターネット環境に接続することができるパソコン、スマホなどがあれば、ソフトなどをダウンロードする必要はありません。ネット接続できるパソコン・スマホは各自でご用意ください。

接続方法：YouTube の「大阪市立自然史博物館」チャンネル（<https://www.youtube.com/c/大阪市立自然史博物館/>）にアクセスして表題の番組をクリックしてください。開始時間になれば始まります。番組を見つけられない場合は YouTube の検索ボックスに表題名を入れて検索してください。

その他：8月末までは見逃し配信を行う予定です。同時配信を見られない方はご覧ください。

問合せ：第四紀研究室・中条

この他にもテーマ展示に関する行事を企画しております。詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

■広報に関する問合せ

大阪市立自然史博物館 総務課（広報担当） 森松

TEL：06-6697-6222 FAX：06-6697-6225 e-mail: s-morimatsu@ocm.osaka